

心輝け 子どもたち!

人権週間に心に残る授業を

小学校1年「しんせつってきもちいいね」 2-(2) 親切
出典: 明るい心1年(県教振)「はしのうえのおおかみ」

資料の概要

一本橋の上で意地悪をしていたおおかみが、力の強いくまに会い、思いがけなく親切にされ、自分の行動を反省してみんなに親切にしようとする話です。

授業の展開例

1年生は、自分勝手な気持ちと他の人を思いやる優しい気持ちの両方をもっています。そのことを認めたくて、他の人を思いやること、親切にすることの大切さに気付かせましょう。

まず、うさぎを追い返したおおかみの気持ちを考えます。そして、くまに親切にしてもらったときのおおかみの気持ちの変化についてとらえます。最後にくまにしてもらった親切をうさぎにしてあげている時の気持ちを考えることで、親切にした時の気持ちよさを感じ取ることができるようにすると、子どもの心に残る授業になると思います。

指導案とすぐに使える画像が、25年度の道德研究会会報に付いているCD-ROMに入っています。ぜひ、ご活用ください。



中学校3年「男女の交際について」 2-(4) 健全な異性観
出典: 明るい人生3年(県教振)「初恋物語」

資料の概要

主人公は、淡い気持ちを抱いていたY子から手紙を受け取ります。その後、後輩の女子が主人公にプレゼントを渡しに来ますが、断ってしまいます。それを見た友達は、主人公の行為を非難します。

授業の展開例

中学3年生になると、心身の成長が著しく異性に対する関心も強くなってきます。意識的に避けたり、わざと相手の関心を誘うような態度を取ったりします。そこで、主人公がY子から手紙をもらったときの気持ちや、後輩からのプレゼントを断ったときの気持ちを考えさせることで、心の葛藤について考えさせたいと思います。そして、友達から非難されたことを通して、相手を尊重する気持ちを高め、健全な男女交際について考えさせたいと思います。

「私たちの道德」の「(4) 異性を理解し尊重して」(P.66～)に、異性について考えるページがあります。この実践の前後、または導入等で活用しましょう。



コラム

心のこもったあいさつとは?

先日、道德の公開授業を参観するため千年小学校に出掛けました。校舎内に入ると「こんにちは」「こんにちは」という子どもたちの元気のいいあいさつで迎えられました。よく考えられた道德の授業を参観した後、ふと20年程前、私が道德の研究委託校にいた頃のことを思い出しました。

それは、今日のような研究発表会や公開授業の日、大勢の参観者を気持ちよく迎えるために、随分前から計画的に週的生活目標等にあいさつの内容を採り上げたことです。ただ、今のように声に出して、「こんにちは」ではなく、お客様と会ったら、少し立ち止まり

城北小学校長 斧田幸治

心のアンテナ

軽くお辞儀をしましょう、会釈をしましょうという指導だったように思います。

この会釈という動作は、いつの頃から主要な指導ではなくなり、今のように声に出して「こんにちは」が主流になっていることに気が付きました。どうしたのでしょうか。あいさつの仕方も欧米化し、進化したということでしょうか。道德の指導要領解説編には、「気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する」と表記されています。ただ、私は会釈という方法もあるのかなと思いますが、皆さんはどう思われますか。

子どもにとって 魅力ある道德の授業を!

10月21日(火)に、名道研研究部テーマ研究部会の授業研究が行われました。熱田区千年小学校にて、6年1組の子どもたちが担任の石田恵将先生と公正・公平について考えました。

副読本「明るい心」と本年度文部科学省から配布された「私たちの道德」を効果的に組み合わせて、道德の時

学んだことを自分の生き方に生かそうとする気持ちを高める道德教育について研究しています

間をさらに子どもたちにとって魅力あるものにしようと指導計画を立てました。活用した資料は
明るい心6年(県教振)「モントゴメリーのバス」
私たちの道德小学校5・6年(文科省)P.132 です。
日常生活では経験する機会が少ない題材である資料「モントゴメリーのバス」と、身近な生活場面を題材として扱っ

た『私たちの道德』の中の資料を活用して、道德の時間を組み立てました。二つの資料を使うことで、学んだことを生活に生かすことができる工夫をしました。
授業後には、研究協議会が行われ、参加者から多くの質問や意見が出され活発な話し合いがなされました。詳しい内容は、研究発表会で発表します。楽しみにしてください。



資料「モントゴメリーのバス」の登場人物の思いを発表する様子